

広報 常陸大宮

2024
11
No.242



特集

常陸大宮市は 市制施行 20 周年 を迎えました

【表紙】

平成 16 年 10 月 16 日、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村の 5 町村が合併し、「常陸大宮市」が誕生しました。「人が輝き 安心・快適で活力と誇りあふれるまち」として、市民の皆さんと歩んできた 20 周年の節目です。今月号では、そんな常陸大宮市の 20 周年を祝って行った記念事業を紹介しています。



常陸大宮市市制施行20周年記念

令和6年10月16日



市長式辞

特集

常陸大宮市は

市制施行20周年を迎えました

常陸大宮市市制施行20周年記念 絵画・書道・作文コンクール

このページに掲載している絵画と書道は、市制施行20周年記念絵画・書道・作文コンクールで最優秀賞を受賞した作品です。作文も含めた作品の詳細は、市ホームページ20周年記念事業特設ページに掲載しています。子どもたちの力作をぜひご覧ください。



◀ 20周年記念
事業特設ページ

【最優秀賞 受賞者一覧】

【絵画の部】 大宮西小1年 小瀧莉愛さん、大宮小2年 小野瀬新月さん、大賀小3年 石川景梧さん、上野小4年 藤田花依さん、大宮西小5年 飛田来伽さん、御前山小6年 安藤怜哉さん、山方中1年 大津結菜さん、第二中2年 山田愛莉さん、大宮中3年 河治茉桜さん

【書道の部】 大宮小4年 小室李夏さん、大宮小5年 若林治希さん、大宮北小6年 大内杏花音さん、第二中1年 森嶋真彩さん、大宮中2年 四倉姫奈さん、明峰中3年 角田光希さん

【作文の部】 上野小4年 萩野間新さん、大宮小5年 佐竹勇星さん、美和小6年 河野遙希さん、山方中1年 佐藤和樹さん、大宮中2年 岡崎蒼羽さん、明峰中3年 堀江莉歩さん



式典



市制施行20周年記念式典

令和6年10月16日、常陸大宮市が誕生して20周年を迎えるこの日に「常陸大宮市市制施行20周年記念式典」を開催しました。



市の発展に貢献された元特別職21名、13団体、個人60名を表彰し、「常陸大宮市の歌～君とこのふるさとで～」のピアノ・コーラス楽譜寄贈者に感謝状を贈りました。



「常陸大宮市市制施行20周年記念 絵画・書道・作文コンクール」の表彰と作文の部最優秀賞者から代表で、美和小学校6年河野遙希さん(左)、明峰中学校3年堀江莉歩さん(右)が作文発表を行いました。



市制施行20周年 記念給食

10月15日、市制施行20周年の記念給食を市内小中学校の子どもたちに提供しました。

(撮影協力：大宮北小学校)



【 記念給食の献立 】



ひたまるの焼印入り
厚焼き玉子

特産品のメンマがアクセント
久慈川メンマ入り
あえもの

道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜で販売している市認証特産品「久慈川たけのこメンマ」と有機栽培された小松菜を使用した副菜です。

20周年記念の特別パッケージ
お祝いのり

牛肉たっぷり 牛鍋

記念給食のメインを飾るのは、市が誇るブランド牛をふんだんに使用した牛鍋です。甘味が特徴的な奥久慈ねぎも入り、ご飯が進む味付けにしました。

今回の記念給食に使用した牛肉180kgは有限会社瑞穂農場から自社農場で育てた常陸牛を寄附いただいたものです。下山一郎代表取締役社長は「常陸大宮市でおいしい牛肉を作っていることを知って、良いまちだと思ってもらえれば」とお話ししていました。



ひたち大宮夏まつり ドローンショー

7月27日、毎年7月最後の週末に開催される「大宮祇園祭」と連携し、「ひたち大宮夏まつり／大宮祇園祭」を行いました。北関東最大級の500機のドローンが、夜空を彩ったドローンショーや、約50店舗のキッチンカーや屋台が集った「グルメ&ビールフェスティバル」などを多くの人を楽しみました。



温泉・温浴施設、子どもの遊び場 無料開放

10月16日から22日までの1週間、市内の温泉・温浴施設「ごぜんやま温泉保養センター 四季彩館」「美和 ささの湯」「やまがたすこやかランド 三太の湯」、屋内こどもの遊び場「わくわくピサー口の森」を無料開放を行いました。



オール 全早明野球戦 常陸大宮大会

12月1日、大宮運動公園市民球場で「常陸大宮市市制施行20周年記念全早明野球戦常陸大宮大会」を開催します。開催の様子は、広報常陸大宮12月号に掲載予定です。



地域おこし協力隊 を紹介します！

常陸大宮市では、地域おこし協力隊として、市所属1名、県所属（常陸大宮市拠点）2名の計3名の方が活躍しています。各隊員がどのようなスキルを生かして活動を行っているか、その様子をご紹介します！

常陸大宮市地域おこし協力隊

農業・民泊で地域おこし！

本田 真美 さん



Facebook

「和ハーブと市内栽培野菜を活用した体験事業・農家民宿の開業」を活動テーマに令和4年4月に着任し、現在最終年度の3年目です。地域の皆さんからのあたたかいご支援を賜りながら田畑をつくり、作物を育てはじめ、現在は「和ハーブ（江戸時代以前から日本で活用されてきた植物全般）」を活用した七味づくりワークショップや、地域の保育園に通う子どもたちを対象にした収穫体験の開催、そしてマコモタケ※の栽培を主として活動しています。おかげさまで今年、定住・活動拠点となる住宅も手に入れることができました。

退任まで残り数か月となりましたが、ますますパワフルに突き進んでいきますので引き続き応援よろしくお願いいたします！

※マコモタケ…イネ科の多年草で、水の多い場所で育つ植物「マコモ」の茎の根本に「黒穂菌」が寄生して肥大化した可食部のこと。マコモは、比較的やせ地でも育つと言われており、自然農法で栽培されている事例も。



① 山方保育所の児童に無農薬で育てたタマネギ・ジャガイモの収穫を体験してもらいました。

② 収穫したマコモタケ。歯ごたえのある食感が特徴的です。

③ マコモタケをけんちん風に調理してみました。

茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】

空き家整備で
地域おこし！

後藤 大樹 さん



Facebook



Uターンして築50年の実家を民泊兼モデルルームとしてDIYリノベーション中です。

親が他界し突然実家が空き家となった経験と後悔から、親子の思い出づくりを兼ねた実家整備支援を事業化することで、空き家抑制の仕組みをつくりたいです。

また『ひたちおおみや放送局Keydecke』のメンバーとして地域情報を発信したり、旧・大宮一中の同級生らとマーケットイベント『Hashi×Watashi』を運営しています。



茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】

デザインで
地域おこし！

後藤 はるか さん



Facebook



地域で活動する「インタウンデザイナー」として特産品や事業者様のデザイン・ブランディングを行います。ロゴ、パッケージ、グラフィックなどのデザインを作るだけでなく、「事業に対する想い」をお聞きし「なぜ作るのか」を一緒に考えながら、より魅力が伝わるようなお手伝いをいたします。

情報があふれ全国のものを手に入れられる時代だからこそ、魅力を適切に伝えることが重要だと考えます。

地元の方々にとって誇りとなる県北ブランドを発信していけるよう尽力いたします！





常陸大宮市 PR DAY が開催されました！

10月20日に、常陸大宮市と「フレンドリータウン協定」を締結している茨城ロボッツの公式戦にて「常陸大宮市PR DAY」が開催されました。抽選での市民無料招待や、市のPRブースで道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜による販売などを行いました。

今後も、Bリーグ・プレミア入りを目指す茨城ロボッツのフレンドリータウンとして常陸大宮市も応援していきます。



1 試合前には、市PR動画を放送。動画では、「水戸ホーリーホック」の常陸大宮市PR大使である松原修平選手、後藤田巨輝選手にご協力いただきました。

2 市特産品が当たるクイズ企画も行い、正解者には抽選で「うまかつペ米」をプレゼントしました。

3 試合前のあいさつでは、小野教育長、市観光大使 尾岡さん、ひたまるがコートに立ち、観客と「GO!GO!ROBOTS!」の掛け声を行いました。



ま ち の で き ご と

9/21

宮城県蔵王町とスポーツを通して交流 縁 JOY スポーツフェスティバル

友好都市である宮城県蔵王町で開催された「縁 JOY スポーツフェスティバル」のゲートボール大会に、常陸大宮市から選抜されたチームが参加しました。常陸大宮市選抜チームは準優勝という素晴らしい成績を収め、交流試合を通して蔵王町のチームと交流を深めました。

選抜チームメンバーは「楽しく交流試合をすることができた」「蔵王町のチームと交流でき、とても素晴らしい体験になった」と話していました。



▲常陸大宮市選抜として、男女混合7人のチームで参加し、蔵王町のチームと実力を競い合いました。

9/25

酷暑時の避難先として活用可能に 日本郵便(株) 関東支社と協定締結

常陸大宮市と日本郵便株式会社 関東支社は、熱中症特別警戒情報が発表された際に、暑さから避難するために市町村が指定する施設「クーリングシェルター」に関する協定を締結しました。

この協定により、熱中症特別警戒情報が発表された際には、市内13か所の郵便局を「クーリングシェルター」として活用することができるようになりました。



▲(右) 日本郵便株式会社 美和郵便局 齋藤茂局長

9/29

消防ポンプ操法大会県北地区大会 市消防団が2つの部門で準優勝

「第75回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会」が開催され、常陸大宮市消防団が、ポンプ車の部、小型ポンプの部の2部門で準優勝に輝き、ポンプ車の部出場の蓮田直樹さん、小池孝裕さんが優秀選手賞を獲得しました。

今大会には市消防団代表として、ポンプ車の部には第15分団（緒川地域）の6人が、小型ポンプの部には第16分団（御前山地域）の5人が出場し、消火活動時の確実な操作などを大会で披露しました。



▲消防ポンプ操法競技大会県北地区大会に出場し、優秀な成績を収めた常陸大宮市消防団代表の皆さん

10/5

オカリナと自然のハーモニーを感じる 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮

常陸大宮大使であるオカリナ奏者の宗次郎さんのコンサート「2024秋 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」を、緒川地域センターで開催しました。このコンサートは、毎年、春と秋にオカリナの森野外音楽堂で開催しており、例年好評を博しているコンサートです。

今回は雨の影響で、会場を緒川地域センターに変更しての開催となりましたが、宗次郎さんの美しいオカリナの音色に、心癒やされる時間となりました。



▲緒川地域センターに宗次郎さんの美しいオカリナの音色が響き渡りました。

10/12

市の産品を使った商品を開発

~14

常陸大宮市・秋田県大館市の高校生が交流

常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会では両市の産品を使った新たな商品の開発に取り組んでいます。今年度は、常陸大宮高等学校と大館国際情報学院高等学校の生徒のアイデアにより、米粉を使用したジャムサンドクッキー&ゆずバターサンドクッキーの試作品が「パティスリーヒカリノ木」の協力を得て完成しました。両校の生徒は、オンライン会議や試食会を重ねて完成したこのクッキー600個を大館市で開催された「第52回本場大館きりたんぽまつり」で販売し、用意した全てが完売しました。



▲常陸大宮高等学校の生徒が大館市に赴いて販売し、来場者からおいしいと好評でした。

11/2

大宮北小学校「北小祭」 こども歌舞伎を披露

大宮北小学校で「北小祭」が開催され、3・4年生がこども歌舞伎を披露しました。「北小祭」では、毎年、4年生が歌舞伎にチャレンジしており、文化財に指定されている「西塩子の回り舞台」でも披露しています。子どもたちは9月から歌舞伎の指導者を招いて、練習を重ねてきました。

舞台では「常磐津子宝三番叟^{さんばそう}」「白浪五人男稲瀬川勢揃いの場」の2演目を披露し、練習の成果が現れた演技に、会場からは大きな拍手が送られました。



▲子宝に恵まれた女性とその使用人2人が四季の面白さを語る物語「常磐津子宝三番叟」を披露する様子。

11/3

市制施行 20 周年記念で特別ゲスト登場 ふるさと祭りおおみやふれあい広場

今年で34回目を迎える「ふるさと祭りおおみやふれあい広場」が西部総合公園グラウンドで開催され、屋台やステージを楽しみに市内外から多くの人々が訪れました。

恒例のまきもちや抽選会のほか、今回は、市制施行20周年記念として、常陸大宮大使でもあるお笑いコンビ「テツ and トモ」などもステージに登場し、会場を沸かせました。



▲ステージでは、常陸大宮大使のテツ and トモさんの全身を一杯使ったパフォーマンスが繰り広げられました。

11/6

プロ野球やメジャーリーグでの経験を語る 元阪神の井川さんが第二中で講演

第二中学校で、プロ野球 阪神タイガースなどで活躍された井川慶さんの講演会が行われました。この講演会は、第二中学校の教員が、高校時代、井川さんと一緒に野球部に所属していたつながりがあり、実現しました。

講演会では「プロ野球 1 軍では、最低限決められた練習メニュー以外に自分でどれだけ練習するかで差が出てくる」などの元プロ野球選手ならではの話があったほか、放課後には野球部のピッチング指導を行い、投げるときの歩数などを教えていました。



▲井川さんは「『目標を見つけて』とよく言われるが、肩肘張らず、ゆっくりやっても良いと思う」とアドバイスを送りました。

11/6 明峰中・美和小の児童・生徒が
~7 日本庭園庭師の道具づくりと庭整備を体験

文化庁主催の「文化芸術による子供育成推進事業 芸術家の派遣事業」で、明峰中学校・美和小学校の子どもたちが、東京の浅草寺などを手がける庭師の指導のもと、手箒^{てぼうき}づくりと国登録記念物「養浩園」での清掃を体験しました。

竹の小枝を切り分ける段階から作業をし、最後には、根本の枝の節がきれいにそろった手箒を完成させることができました。



▲養浩園の清掃体験では、「苔を傷つけないよう、手箒の先でやさしく」との指導を一生懸命実践していました。

ス ポ ー ツ 大 会 結 果

第 44 回常陸大宮市近郊中学校サッカー大会

開催日：令和6年10月13日、19日
会場：西部総合公園多目的グラウンド
主催：一般財団法人常陸大宮市スポーツ協会
参加チーム：12チーム

【大会結果】

優勝 笠間市立友部中学校
準優勝 常陸大宮市立大宮中学校
第3位 東海村立東海南中学校
東海村立東海中学校



▲準優勝の大宮中学校

第 38 回市民ゴルフ大会

開催日：令和6年10月22日
会場：マナゴルフクラブ
主催：常陸大宮市ゴルフ連盟
参加人数：90人

【大会結果】

優勝 石井 康之
第2位 片岡 正徳
第3位 岡崎 欣也
ベストグロス賞 片岡 正徳



▲優勝した石井 康之さん



常陸大宮市の情報がいつでもどこでもすぐにわかる！

ひたまるアプリ

市最新情報を
スマホに通知

ごみ収集日の
プッシュ通知

防災・災害
関連情報

二次元コードを読み取って
いますぐダウンロード！







流行前からしっかり対策！

感染症予防に知っておきたい4つのポイント

気温が低く、空気が乾燥する冬は、ウイルスの活動が活発になるため、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、感染性胃腸炎などさまざまな感染症が流行しやすくなります。

感染症の種類は違っても、基本的な予防方法は同じです。しっかりポイントを押さえて感染症を予防しましょう。

ポイント1 こまめな手洗いが一番の基本

いろいろな場所を触ることで、気づかないうちに手にウイルスなどが付着します。その手で、鼻や口などに触ることで粘膜からウイルスが侵入して感染します。

帰宅時や調理の前後、食事前、トイレの後などに、石けんを使って手を洗いましょう。



ポイント2 マスクの着用と「咳エチケット」の徹底

症状がないときも、人との距離がとれない場合は、マスクを着用しましょう。また、周りの人へ感染させないためにも、咳やくしゃみをするときはマスクやティッシュ、ハンカチなどで口や鼻をおおいましょう。



ポイント3 定期的な換気

締め切った室内など空気が循環しづらい場所では、ウイルスが同じ場所にとどまってしまう。定期的に窓を開けて換気をしましょう。



ポイント4 免疫力を高める

主食、主菜、副菜を組み合わせるいろいろな食材をバランスよく食べたり、適度な睡眠をとり、ウイルスに負けない体をつくりましょう。



弥生の墓

現在、歴史民俗資料館では、山方地区の中台遺跡と小野地区の小野天神前遺跡発掘調査で発掘された、弥生時代のお墓についての企画展「弥生の墓」を開催しています。

お墓の遺跡は、考古学においてとりわけ興味深い課題です。なぜなら、文字記録がない大昔の人々が、身近な人の死を悼み、あの世へ送るために行った様々な儀式の痕跡を、彼らが自らの手で地中に封じ込めた、いわば死者への思いを詰め込んだまま数千年の時を超えたタイムカプセルなのです。

とはいえ、日本の土壌では、有機物はほぼ溶けて無くなってしまっていますので、とても慎重に発掘し、当時の様子を推測する必要があります。



▲穴の形や深さだけで埋葬姿勢を推定することも

常陸大宮市の弥生時代のお墓といえば、市内唯一の国指定史跡である泉坂下遺跡に代表される「再葬墓」遺跡です。再葬墓とは、一度土葬などで埋葬してから、骨になった後に壺などに入れて再び埋葬したお墓です。壺がまとまって沢山埋められている状態で発掘され、中台遺跡と小野天神前遺跡でも見つかりました。

またこれと同時期に、土器棺墓^{ひつぎ}というお墓もあります。骨にせずにそのまま土器を棺として利用したお墓のことです。主に幼児などが納められたと考えられていて、縄文時代から、再葬墓が造られなくなった弥生時代中期以降も継続する墓制です。

再葬墓と土器棺墓は、土器が地中に納められている点では同じため、区別が難しかったのですが、山方地区の中台遺跡では土器棺墓である可能性が高い墓群が発見されました。

壺は骨でしか入らない。

だから再葬墓。

口が広いかめや、上部を欠いた壺は土器棺墓の可能性が高くなる。



調査を重ねることで、少しずつ分かってくることもあります。新しい謎も掘り出されます。

小野天神前遺跡の再葬墓に、なぜか逆さまに置かれた土器があったり、中台遺跡では、見たことのない形の土器が発見されたりしています。



▲小野天神前遺跡の逆さまに置かれた土器



▲中台遺跡出土 横瓶形土器

現代を生きる私たちのお葬式は、すっかりシステム化されていますが、それでも故人を見送るために様々な手順を踏みます。弥生時代の人々の葬送とは全く違う点もあれば、共通点を感じることもあると思います。ぜひ皆さんの目を見て弥生人の心を感じてみてください。

企画展「弥生の墓」は12月15日(日)まで開催中です！

(歴史民俗資料館 中林 香澄)



空気が乾燥しやすいこれからの時期は注意！

家で火災が起こりやすい場所・状況

冬は空気が乾燥し、暖房器具を使う機会が増えるため、火災が起こる可能性が高まる季節です。家での火災の主な原因は、たばこ、コンロ、電源コード、ストーブなどが挙げられます。家の中で火災が起こりやすい場所や状況を今一度確認して、火災を防ぎましょう。

火災の原因 4つの場所・状況を確認！

原因1位 コンロ

コンロを使う前には、周りがあるふきんやキッチンペーパーなどの燃えやすいものは片付けるようにしましょう。鍋底からはみ出ない程度の火力に調節し、コンロを使っている間は離れないようにしましょう。やむを得ず、数秒でもコンロから離れる場合には、消してから離れるようにしましょう。

原因2位 たばこ

たばこの火は小さいものに感じると思いますが、吸い殻に残った火種からカーペットなどに燃え移るなど、住宅火災でも多い原因です。「消したつもり」が火災のもとになりますので、吸い殻は、水に入れて、完全に消火するようにしましょう。また、寝たばこは絶対にしないようにしましょう。

原因3位 電気器具(電気ストーブなど)

特に多いのが、電気ストーブによる火災です。ストーブ周辺に乾きが良くからと洗濯物などを干してはいませんか？洗濯物などの燃えやすいものはストーブの近くに置かないようにしましょう。また、外に出るときや寝るとき、ストーブをつけたままにするのは非常に危険です。必ず消すようにしましょう。

原因4位 電源コード

電源コードは知らず知らずのうちに劣化をしており、見た目は問題なくても、中の電気を通して線が切れかかっていたりします。特に、束ねて使用していると、中の線が切れやすくなりますので、束ねた状態では使わないようにしましょう。また、定期的に点検、清掃するようにしましょう。

家の火災警報器は大丈夫？ 10年ごとに交換を！

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、警報音などで火災の発生を知らせてくれます。火災にいち早く気づき、速やかな初期消火や通報、避難が可能になります。設置から10年が経つと、電池切れや機器の劣化で、煙や熱を感知しなくなる可能性があります。すべての住宅に設置が義務になり、10年以上経過した今、家の火災警報器の本体交換を行い、火災に備えましょう。



消防 NEWS

常陸大宮市消防団が県の消防団 PR 動画に出演しています

常陸大宮市消防団が、Bリーグ「茨城ロボッツ」のマスコットキャラクター「ロボスケ」と一緒に、茨城県消防安全課の公式YouTubeで公開中の消防団PR動画に出演しています。

動画は、消防団の活動についてわかりやすくまとめられている内容になっています。消防団の勇姿をぜひご覧ください！





伊東電機株式会社 茨城工場

住所 常陸大宮市上小瀬 5391-3 | **事業内容** 製造業（防爆電気機器製造）

採用のお問い合わせ ☎ 56-2101 ✉ itodenki-soumu@eye.jp
（担当：総務経理課）

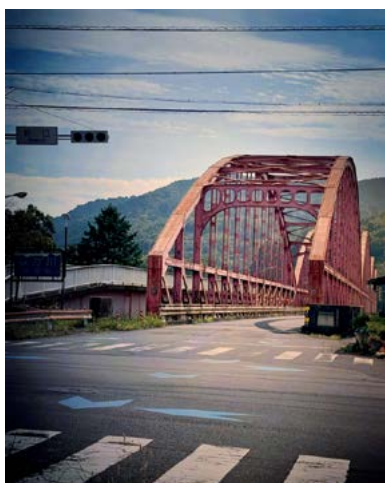
Interview 木村 祐希 さん

電気機器に使用される金属部品の加工を担当し、機械のプログラミングと操作、できあがった製品の確認などを行っています。転職前の職場では、休みが取りづらく生活リズムが乱れることもあったため、長く勤められる職場を探す中で、先に入社していた友人からのすすめもあり、入社しました。土日が休みで、体を労わりながら製造業が続けられると思ったのが、入社の決め手です。



Instagram Photo gallery

常陸大宮市で撮影されたInstagram投稿をご紹介します！



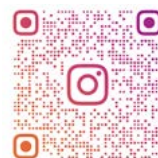
「那珂川大橋」
Photo by @osakana_kira2

市内の風景、イベント、何気ない日常など、「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おみやファン」などのハッシュタグを付けてご投稿ください！



「道の駅常陸大宮～かわプラザ～」
Photo by @o_kihcam

常陸大宮市
公式Instagramは
こちらから



市の最新情報、ごみ収集日の通知機能などが便利なスマートフォン向けアプリ「ひたまるアプリ」をご利用ください！



iOS



Android

広報常陸大宮 令和6年11月号
（令和6年11月25日発行）
発行：常陸大宮市 編集：企画政策課
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6
電話 0295-52-1111
E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

常陸大宮市の人口
（11月1日現在）
人口：36,506人
（男性：18,055人／女性：18,451人）
世帯数：15,558世帯



再生紙と植物油インクを使用しています。